

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称：	(本園)いずみ東白楽保育園 (分園)いずみ反町公園保育園	種別：	認可保育園	
代表者氏名：	(本園)園長 横山 奈緒子 (分園)園長 尾田 真名美	定員（利用人数）：	(本園)70 (76) 名 (分園)40 (40) 名	
所在地：	(本園)〒221-0812 神奈川県横浜市神奈川区平川町3-6 (分園)〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町1-12			
TEL：	(本園)045-491-3041 (分園)045-548-8311	ホームページ：	(本園) https://izumi-yokohama.net/higashihakuraku/ (分園) https://izumi-yokohama.net/tanmachi-k/	
【施設・事業所の概要】				
開設年月日	(本園)2013/4/1 (分園)2017/4/1			
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 いずみ			
職員数	常勤職員：	(本園) 15 名 (分園) 8 名	非常勤職員：	(本園) 9 名 (分園) 7 名
専門職員	保育士	(本園) 17 名 (分園) 9 名	栄養士	(本園) 2 名 (分園) 1 名
	看護師	(本園) (兼任) 1 名 (分園)	調理員	(本園) 2 名 (分園) 2 名
	用務員	(本園) 1 名 (分園) 1 名		
施設・設備の概要	居室数 (本園)	保育室3室 ホール 多目的室 事務会議室 プレイルーム 沐浴室 調乳室 調理室	設備等 (本園)	子ども用トイレ 大人用トイレ オストメイト 駐輪場・ベビーカー置き場
	居室数 (分園)	保育室2室 調理室 事務室 ホール 園庭	設備等 (分園)	子ども用トイレ 大人用トイレ オストメイト 駐輪場・ベビーカー置き場

③理念・基本方針

子どもは生まれながらにして育つ力、生きようとする力を秘めています。そして、この世の中でたった一人のかけがえのない存在として、周りの大人から愛され、認められ、幸せに生きる権利があります。その子どもたちが現在を最もよく生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うために、私たち大人は環境を整え、適切な援助をし、幸せに生きる権利を保障していかなければなりません。特に保育所は乳幼児が生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期に生活の大半を過ごすところです。当園は子どもたちの健やかな成長と幸せを願って、次の保育の基本方針、保育目標を掲げています。

1. 当園は良質な水準かつ適切な内容の保育・教育の影響を行うことにより、全ての子どもが健やかに成長するために適切な環境が等しく確保されることを目指します。
2. 保育・教育の提供にあたっては、子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進するため、利用子どもの意思及び人格を尊重して保育・教育を提供するよう努めます。
3. 当園は利用子どもの属する家庭及び地域との結びつきを重視した運営を行うとともにその支援を行い、都道府県、市町村、小学校、他の特定教育・保育施設等、地域子ども・子育て支援事業を行う者、他の児童福祉施設その他学校又は保健医療サービスもしくは福祉サービスを提供する者と密接な連携に努めます。

④施設・事業所の特徴的な取組

赤ちゃんから小学校就学前までの子どもたちの大きな家族のような保育園を目指しています。「子どもたちが楽しく充実した1日を過ごせる保育園」「キラキラした笑顔の子どもたちが主役の保育園」この2つを目標に、故中村きく子前理事長が設立した保育園です。この想いを大切に、子どもたち・職員・保護者みんなが笑顔になれる保育園を目指しています。

本園のいすみ東白楽保育園は平成25年4月に開園しました。園内はホールを中心に周りに保育室が囲うかたちとなっています。このホールにみんなが集まって、誕生会や行事が開催されています。園庭はありませんが、地下にプレイルームがあり、雨天時でも遊ぶことができます。異年齢の子どもたちと日々のかかわりのなかで、思いやりや憧れの気持ちが自然と生まれるよう、自由遊びや朝夕の会を合同で行ったり、いっしょに散歩に出かけたり、幼児集会を行ったりするなど異年齢交流を行っています。

分園のいすみ反町公園保育園は、横浜市で初の公園内保育園として平成29年4月、反町公園の一角に設立されました。1～5歳児を預かる園で、公園内にありながら園庭もあります。うさぎ型の揺れる遊具や、砂場、ハウスなどがあり、天候に不安のある時にでも外に出て安心して遊ぶことができます。園庭にはプランターで子どもたちが選んだオクラやきゅうり、なす等の野菜を育てており、夏の収穫を楽しみに毎日水やりをしています。収穫した野菜は、給食室の職員に依頼して給食時に提供してもらい、自分たちで作ることで苦手な野菜も少しずつ食べられるようになり、食育につながっています。

本園、分園ともに、「ファミリー遠足」「ファミリー運動会」「保育参加」など、家族の方も参加できる行事も大切にしています。コロナ禍となり、制約の多い中で、子どもたちの成長を保護者の方と共有していきたいとの思いで、どうすればできるのか、何ならばできるのかを職員で意見を出し合いながら考え、子どもたちにとっての最大の利益を念頭に、縮小したり時間を分けるなど形を変えて開催しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年6月9日 (契約日) ~ 2022年11月4日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	1 回 (2015 年度)

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆本園と分園との良好な関係が築かれ「大きな家族」の実現に近づいています

本園には広々としたホールや地下のプレイルームがあり、分園は緑豊かな公園の一角にあるなど、それぞれ特徴のある環境を生かして日々保育を行っています。本園と分園は徒歩約10分ほどの距離にあり、週1回、土曜保育の際に分園に本園の子どもと職員が合流して保育を行い、園以外の子どもと触れ合いや、職員同士の情報交換の場になっています。また、本園の園長・主任と分園の園長による経営層会議を年数回企画してコロナ禍の保育を話し合うなど、良好な関係が構築されています。このような協力体制が礎となり、子どもも職員も含めた「大きな家族」の実現に近づいています。

◆職員個々の提案が保育環境の安全性や保育の質の向上につながっています

職員の気づきや提案を積極的に受け入れ話し合う風通しの良い職場風土が醸成されています。職員は主体的に園内環境に目を配り、改善すべき点があれば「気づきの提案書」に記入をして園長に提出します。改善の必要性については、法人や園長が検討するほか、職員会議でみんなで話し合うなどして決めています。本園では昨年度は30以上の提案書が提出され、職員の意識の高さがうかがえます。そして、本園施設内には遊具棚の設置、災害時の避難バックの充実化など、至るところに職員の提案が生かされています。こうした職員個々の提案が、保育環境の安全性や保育の質の向上につながっています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

本園では2回目の受審となります。職員各自で自己評価を行い、グループに分かれて話し合ったものをまとめていきました。第三者評価を受けるにあたり、園としての取り組みや日々の保育振り返る中で、たくさんの学びや課題点がみえました。今回の評価を受け、良いところは継続してより良いものにしていき、課題点は具体的に改善して実践していけるように努めてまいります。

保護者の皆様には、お忙しい中アンケートにご協力いただきありがとうございました。いただいたご意見・気づきを大切に、これからも子どもも保護者も職員も笑顔で過ごせる園を目指して取り組んでまいります。

分園は開園から5年経ち、この度初めての第三者評価の受審でした。コロナ禍の中で衛生管理に努めながら「子どもたちにとっての最善の利益」を念頭に置き「今できる最大限のこと」をすべく縮小したり、形を変えたりしながら行事や日々の保育を行っています。

今回、第三者評価を受けるにあたり、全職員で振り返り、話し合いをする中で問題点が明らかになりました。この審査で指摘を受けた事を真摯に受けとめ、全職員で共有し、課題の改善に努めてまいります。

保護者の皆様にはご多忙な中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。いただいた貴重なご意見を今後の運営に活かしてまいります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり